

北九州エアターミナル株式会社

I 法人の概要（平成 31 年 4 月 1 日現在）

1 所在地

北九州市小倉南区空港北町 6 番

2 設立年月日

平成元年 5 月 1 日

3 代表者

代表取締役社長 西田 幸生

4 資本金

3,524,000 千円

5 北九州市の出資金

1,000,000 千円（出資の割合 28.4%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	13	0	1	12
常 勤	4	0	1	3
非常勤	9	0	0	9
職 員	20	0	2	18

7 市からのミッション

市等との連携による路線誘致等、利用者数の増加に向けた取組みを進め、安定的な財務状況を維持し、公共性の高い空港ターミナルビルを安全かつ快適な空間として、航空会社や航空旅客に提供する。

また、路線の拡大等、航空会社の動向に合わせ、的確な施設の増強や改造を行い、市等との連携による路線誘致に繋げる。

さらには、空港ターミナルビル内を活用し、イベントや展示を行い、地域のにぎわいの場としての役割も果たしていく。

II 平成30年度事業実績

1 航空旅客

今期の日本経済は、良好な企業収益や雇用環境が継続する中、個人消費は堅調に推移し、景気は緩やかに回復した。

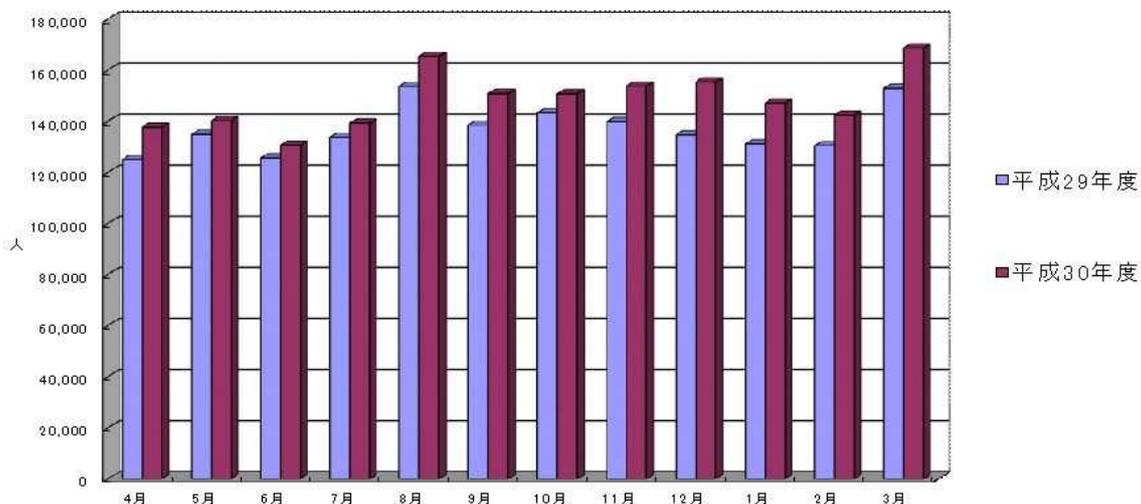
航空業界においては、国内・海外経済の緩やかな回復が見られる中、国のインバウンド政策の更なる推進等により、前期に引き続き訪日外国人客が増加した。

このような状況のもと、当北九州空港においては、国内線では、東京（羽田）線の年間旅客数は約1,346千人（前期比102.9%）で、2年連続で1,300千人を超え、過去最高となった。フジドリームエアラインズの名古屋（小牧）線は、年間旅客数は約23千人（前期比91.2%）となり、3月30日を以て運休となった。代わって3月31日からフジドリームエアラインズの静岡線が新規就航した。沖縄（那覇）線は、6月を除き年間を通じて運航するとともに、夏季期間は2往復に増便運航し、年間旅客数は約64千人（前期比226.9%）と増加した。定期路線にチャーター便を加えた年間国内線旅客数は約1,434千人（前期比105.3%）で、約72千人の増となり、開港以来、初めて1,400千人を超え、5年連続で過去最高を更新した。

国際線は、既存路線は、韓国（仁川）線の年間旅客数は約158千人（前期比108.1%）、韓国（釜山）線の年間旅客数は約84千人（前期比102.1%）、中国（大連）線の年間旅客数は約19千人（前期比105.6%）といずれも増加した。5月27日にコリアエクスプレスエアの韓国（襄陽）線と韓国（務安）線が新規就航し、韓国（襄陽）線の年間旅客数は約8千人、韓国（務安）線の年間旅客数は約5千人となった。また、10月28日に新規就航したスターフライヤーの台北（桃園）線の年間旅客数は約28千人、11月2日に新規就航したティーウェイ航空の韓国（務安）線は約35千人となった。定期路線にチャーター便を加えた年間国際線旅客数は、約349千人（前期比123.7%）で約67千人の増となり、過去最高となった。

この結果、国内・国際定期路線にチャーター便を加えた年間総旅客数は約1,783千人（前期比108.4%）で約139千人の増となり、3年連続で過去最高を更新した。

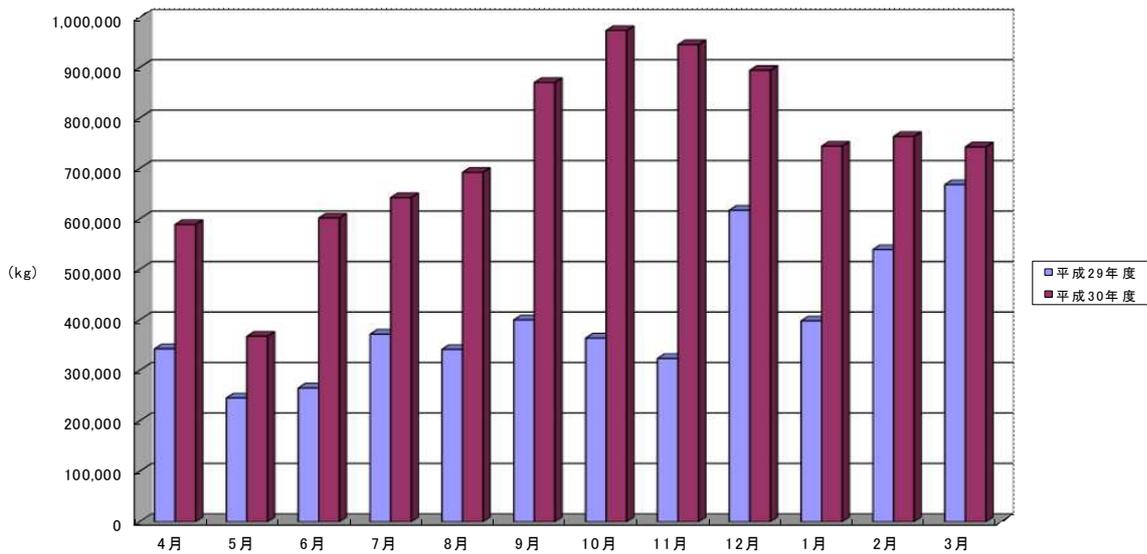
【国内・国際線旅客数（合計）の推移】



2 航空貨物

国内航空貨物の年間取扱量は、約4千2百トン（前期比114.1%）となった。また国際航空貨物は、6月5日からANA Cargoによる定期便が新規就航したことを受け、チャーター便と合わせた年間取扱量は、約4千6百トン（前期比385.5%）となった。

【国内・国際線貨物取扱量（合計）の推移】

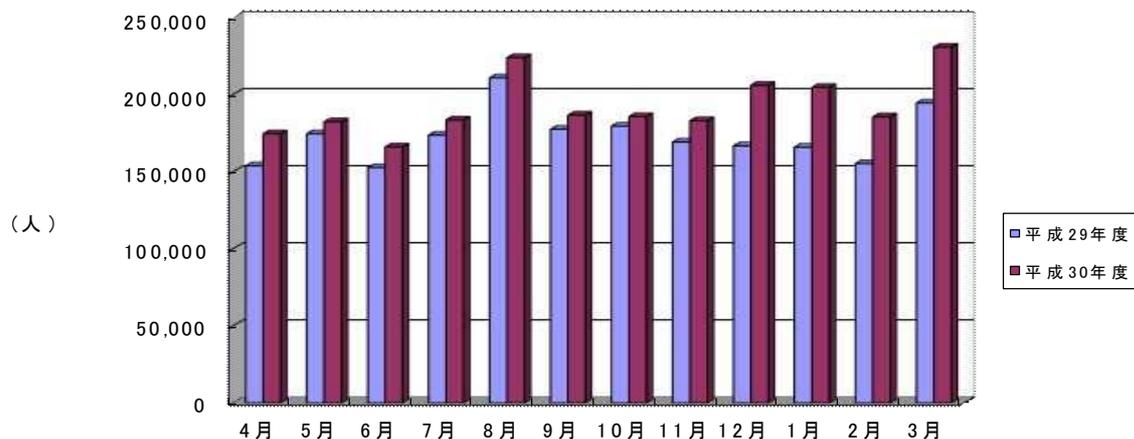


3 旅客ターミナルビル来館者

航空旅客に対して館内での快適な一時を過ごしていただくとともに、航空旅客以外の来館者の集客を図るため、空港周辺の自治体をはじめ、関係団体や関係者に対して、館内での作品展示やイベント等の開催を呼びかけるとともに、当社主催の四季折々を感じさせる多彩なイベントや作品展示会等を実施し、旅客ターミナルビルの「賑わいづくり」に取り組んだ。

この結果、年間のターミナルビル来館者は約2,313千人（前期比111.5%）となった。

【旅客ターミナルビル来館者数の推移】



【イベント実施状況】

開催時期	主 な イ ベ ン ト 名
4月	苅田町地域おこし協力隊藤田紫写真展
5月	北九州市障害者芸術祭「かがやき巡回作品展」
	グリーンパーク「春のバラフェア」PR展示
5月～6月	宮地嶽神社 菖蒲まつりPR展示
6月	西田忠信写真展
6月～7月	幼稚園児による七夕飾り
7月	小倉祇園まつりパネル展
7月～8月	ナイトトリップ in 北九州空港（各月1回）
8月	「ぼくらのひみつ基地とわたしの魔法のお部屋」PR展示
9月	「JAL飛行機の絵」作品展示
	北九州空港まつり
9月～10月	福岡県京築PR展示
10月	ゆくはし遺産絵画展
	沼楽奉納演舞
10月～11月	北九州空港菊花展
11月	シャドーボックス展示
	空港おいしいまつり
	「池坊」華空会 初冬の花展
	フレンズ幼稚園クリスマスソング披露
	北九州空港ピアノお披露目・演奏
12月	初音ミク展
1月	ぜんざい振る舞い
	田川市美術館PR展示
2月	写真展
	ふぐ雑炊振る舞い
	「新池坊」花展
2月～3月	うきはベース写真展～九州北部豪雨・被災地の今～
3月	等覚寺写真展
	13周年感謝祭
通 年	豊前街道新鮮市

4 テナント売上増に向けた取り組み

入店者研修等の各種研修を実施しテナント従業員の能力向上を図った。

また、テナント店長会議において、航空会社の利用状況や、チャーター便の運航状況等を共有し、販売効率を高める努力を行った。

さらに、北九州空港テナント会と共同で、「ぜんざい振る舞い」等を開催し、お客様への日頃の感謝を込めたイベントを実施した。

5 施設整備等

国際線定期便の就航に伴う施設の狭隘化、航空旅客の利便性維持向上に対応するため、旅客ターミナルビルの大規模改修工事及び航空会社本社棟・事務所棟改変工事を完了・供用開始するとともに、エプロンルーフ（接続通路）設置工事を行った。また、国際航空貨物定期便運航会社事務所を新設した。

更に国際線保安検査場ボディスキャナー一式及びX線検査機器の更新を行った。

6 経営状況

当社の経営については、国際線定期路線の運航通年化に伴い、便数や旅客数が増加したことから、施設使用料収入等が増加し、当期売上高は約 970 百万円で前期と比較し、約 48 百万円の増収となった。

売上原価、販売費及び一般管理費の合計は、施設の老朽化に伴う修繕費の増加や、国際線定期路線の就航に伴い施設や設備の維持管理費が増加したこと等により、約 893 百万円で前期と比較し、約 83 百万円の増加となった。また営業外収益は約 31 百万円、営業外費用は約 4 百万円となった。

以上の結果、税引前当期純利益は約 90 百万円で、当期純利益は約 63 百万円となった。

Ⅲ 平成30年度決算

1 貸借対照表

平成31年3月31日現在（単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	663,968,704	【流動負債】	235,154,441
現金・預金	492,238,745	買掛金	1,082,788
未収入金	160,807,184	未払金	85,263,620
商品	527,702	一年以内返済長期借入金	59,976,000
貯蔵品	1,594,620	リース債務	2,108,880
前払費用	8,800,453	未払費用	2,243,800
		未払法人税等	13,820,000
		前受金	25,005,562
		預り金	817,311
【固定資産】	4,427,199,963	預り保証金	5,653,480
(有形固定資産)	4,082,076,516	賞与引当金	4,183,000
建物	3,907,317,715	預り建設協力金	35,000,000
構築物	53,971,365	【固定負債】	515,042,309
工具器具備品	91,530,639	長期借入金	215,034,000
機械装置	115,804	預り敷金	28,496,400
車両運搬具	22,820,631	預り保証金	34,093,080
リース資産	6,320,362	長期リース債務	4,791,108
		退職給付引当金	11,460,596
(無形固定資産)	3,928,101	預り建設協力金	105,000,000
電話加入権	124,984	資産除去債務	116,167,125
水道施設利用権	511,875	負債合計	750,196,750
供給施設利用権	3,291,242	純資産の部	
		【株主資本】	4,334,555,162
(投資その他の資産)	341,195,346	資本金	3,524,000,000
投資有価証券	319,590,500	利益剰余金	810,555,162
出資金	300,000	その他利益剰余金	810,555,162
長期繰延税金資産	21,304,846	繰越利益剰余金	810,555,162
		【評価・換算差額等】	6,416,755
		その他有価証券評価差額金	6,416,755
		純資産合計	4,340,971,917
資産合計	5,091,168,667	負債・純資産合計	5,091,168,667

2 損益計算書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日 (単位：円)

科 目	金 額	
I 売上高		970,195,356
売上高	23,780,790	
家賃収入	347,387,663	
管理費収入	211,332,910	
設備使用料収入	361,733,875	
広告料収入	25,960,118	
II 売上原価		6,115,462
売上総利益		964,079,894
III 販売費及び一般管理費		887,048,299
営業利益		77,031,595
IV 営業外収益		30,859,822
受取利息	8,499	
受取配当金	2,194,000	
雑収入	28,657,323	
V 営業外費用		3,708,790
支払利息	1,056,790	
休業補償費	2,652,000	
経常利益		104,182,627
VI 特別利益		54,791,666
補助金	54,791,666	
VII 特別損失		69,470,895
固定資産除却損	14,679,230	
建物圧縮損	23,291,666	
構築物圧縮損	1,500,000	
器具備品圧縮損	29,999,999	
税引前当期純利益		89,503,398
法人税、住民税及び事業税	27,483,464	
法人税等調整額	▲1,178,067	26,305,397
当期純利益		63,198,001

IV 令和元年度事業計画

北九州空港が 24 時間運用の海上空港であるという特色を活かし、北九州地域の九州・アジアの空の玄関口として、また、人・モノ・サービスの流通拠点として、より一層飛躍・発展するように取り組んでいく。

1 航空旅客

国内線・国際線ともに前年度の旅客者数が過去最高となったことを受け、行政や団体と連携をとり、既存航空会社の更なる便数の増大、路線の拡大を目指すとともに、新規航空会社の誘致を行う。

特に国際線は、旅客ターミナルビルの大規模改修により国際線小型機同時 2 機対応が可能となったため、行政や団体と連携をとり、誘致や集客を強化する。併せて平成 31 年 3 月 31 日に新規就航した静岡線については、行政や団体と連携をとり、PR を実施する等、集客を支援する。

2 航空貨物

ANA Cargo の成田→北九州→那覇線の安定的な運航と国際貨物チャーター便の運航を支援するため、行政や団体と連携をとり、随時地上支援機材の整備・更新等を行う。併せて、滑走路 3 千メートルへの延伸等の実現に向け、国への要望活動を行う。

3 ターミナルビル来館者

本年 5 月 1 日に会社創立 30 周年を迎えるにあたり、年間を通じて利用者に感謝を伝えるイベントを実施する。また、大分方面や山口・広島方面を含め、引き続き北九州空港圏域の情報発信を強化する。併せて、社会科見学等の施設見学を積極的に受け入れるとともに、出前航空教室を実施し、将来の利用者増に繋がる活動を行う。空港全体では、CS 活動を実施し、空港利用者の満足度向上を図る。

4 テナント売上増に向けた取組み

店員の意識改革や接客マナーの向上等を目的とした研修会を実施し、空港利用者へのサービスを改善し、売上高の維持・向上を図る。併せて、各テナントと連携し、魅力ある商品構成、地元食材の提供等を検討し、店舗の魅力向上を図る。

5 大規模自然災害に伴う企業リスク対策

空港を管理する国と連携し策定を進めている BCP（事業継続計画）について、より精度を高める。また、防災備蓄品の更なる拡充を実施するとともに、特定天井等の改修を検討する。

6 整備計画

航空会社の相次ぐ新規就航に伴い事務所スペースが狭隘となっているため、事務所棟の建設を検討する。また情報発信のためのデジタルサイネージの設置、航空旅客が使用できるサイクリングステーションの設置等を検討する。併せて、引き続き老朽化した施設や設備等のリニューアルを実施し、旅客ターミナルビルの利便性と快適性の向上を図る。

V 令和元年度予算

収支予算書

自 平成31年4月1日

至 令和 2年3月31日 (単位：千円)

収 入	営業収入	売上高	43,000
		家賃収入	355,000
		管理費収入	212,000
		設備使用料収入	396,000
		広告料収入	30,000
		小 計	1,036,000
	営業外収入	雑収入等	31,000
		小 計	31,000
		合 計	1,067,000
	支 出	営業費用	売上原価
人件費			143,000
減価償却費			291,000
修繕費			100,000
水道光熱費			107,000
租税公課			52,000
地代			26,000
管理委託費			188,000
一般管理費			61,000
		小 計	980,000
営業外費用		支払利息等	2,000
		小 計	2,000
	合 計	982,000	
収 入 - 支 出		85,000	

VI 役員名簿

令和元年7月1日現在

役職名	氏名	現職
代表取締役社長	西田 幸生	
代表取締役専務	平床 司	
常務取締役	大脇 正人	
取締役	東 俊明	日産自動車九州株式会社 取締役常務執行役員
〃	庄山 和利	西日本鉄道株式会社 執行役員北九州統括 西鉄バス北九州株式会社 代表取締役社長
〃	福井 利彦	苅田町 副町長
〃	三好 忠満	日本製鉄株式会社 八幡製鉄所 総務部長
〃	梅田 弘人	TOTO株式会社 総務本部長
〃	長田 純	ANAホールディングス株式会社 グループ経営戦略室事業推進部 マネジャー
〃	柚須 亮太郎	九州電力株式会社 執行役員北九州支社長
常勤監査役	田中 博幸	
監査役	川本 惣一	株式会社西日本シティ銀行 取締役副頭取 北九州・山口代表
〃	小森 孝義	行橋市 総務部長